

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記③

国立市立国立第七小学校

平成27年5月28日 NO.24 (224)



花ちゃん 「あれあれ？これは何ですか。エイリアンみたいですよ。」

オー君 「エイリアンではないよ。これはヤゴだよ。つまり、トンボの幼虫さ。たぶんオニヤンマだね。」

花ちゃん 「へえー。ヤゴを見ただけでトンボの名前がわかるなんて、やっぱりオー君は昆虫ものしり屋さんですね。」

オー君 「あのね、これだけ大きなヤゴといえば、やっぱりオニヤンマ系だね。よく見ると、体のまわりにたくさんの毛が見えるだろう。これも特徴だね。」

花ちゃん 「このヤゴどうしたのですか。」

オー君 「これはね、4年生のSくんが谷保天神の近くの川で見つけたらしいよ。」

花ちゃん 「へえー。それはすごいですね。ところで、ヤゴはいつ『さなぎ』になるの。」

オー君 「おっととと……。トンボは不完全変態といって、さなぎにはならないんだ。」

モンタ博士 「そのとおりだね。チョウやカブトムシは、完全変態で途中でさなぎになるけど、トンボやバッタやカマキリなどは、幼虫からそのまま成虫になるんだ。」

花ちゃん 「へえー。そうなんですか。ところで、上の写真の左側は、ちょっとちがうような感じですが、何をしているのですか。」

モンタ博士 「これがおもしろいんだよ。えさが近づくとね、ヤゴは突然下口びるを伸ばしヒョイツとつかまえてしまうんだ。これはなかなかの見ものなんですよ。」

いちど、花ちゃんにも見せてあげたいな。その様子は、まるで、エイリアンの
ようで、^{はくりよくまんてん}迫力満点なんだよ。」

花ちゃん 「ぜったいに見たいです。ところで、^{ほか}他にもいろいろな^{しゃしん}写真がありますね。」



ニホンアマガエル



カナヘビ

オー君 「カエルは、1年生のMさんが見つけて持ってきて見せてくれたんだ。」

花ちゃん 「こうやって見ると、とてもかわいい顔をしていますね。」

オー君 「^め目の横がちょっと^{くろ}黒いすじになっているのが^{とくちょう}特徴で、これは、ニホンアマガエルなんだ。」

花ちゃん 「カエルのとなりにも何かいますね。トカゲ？イモリ？ヤモリかな？」

オー君 「カナヘビだよ。2年生のSくんが持ってきて見せてくれたんだ。」

花ちゃん 「ずうっと前に、『^{まえ}四つ足の生き物』として、^{くにたち}国立てくてくのにのってましたね。」

モンタ博士 「そうだね。『^{くにたち}国立てくてくのNO.19』で^よ四つ足の生き物^{けんさく}けんさくを見れば、
ばっちりわかるよ。」

花ちゃん 「うわあー！ヘビ！こわい！」

オー君 「このヘビは2年生のHくんが^{みつ}見つけたらしいのさ。^{くび}首の周りに^{まわ}黄色^{きいろ}いすじがあるだろう。だから、
ヤマカガシかもしれないんだ。」

モンタ博士 「ヤマカガシだったら、^{どく}毒もある
から^て手でさわったりしないで^き気をつ
けよう。それから、^い生き物と^{あそ}遊
んだ後は、^{あと}必ず^{かなら}手を^てあらうこと
^{わす}を^{わす}忘れないでね。」



ヤマカガシ？